

別表 I - 1 平成 31 年度 小学校初任者研修 学校研修及び機関研修項目

月	学 校 研 修	機 関 研 修
4	<ul style="list-style-type: none"> ●教師としての心構え（メンタルヘルスも含む） ・教員の日～自校のサービスのきまり～ ・学校の教育目標と教育計画 ●年度初めの学級担任の仕事 ●学級経営の内容と果たす役割（学級経営案の作成） ・給食指導、清掃指導 ・示範授業①－教科等 ・校務分掌と担任の役割 ●教材研究の進め方 ・週案、学習指導案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・初任者研修ガイダンス ・今、教師に求められているもの ・服務規律と不祥事の防止 ・社会人としてのコミュニケーションマナー ・学級経営の基本と保護者との連携 ・教員のためのメンタルヘルス ・人事評価制度について
5	<ul style="list-style-type: none"> ・職場におけるメンタルヘルス ●家庭との連携－家庭訪問・個人面談－ ●体罰の厳禁 ●いじめ問題の理解と対応 ・学校自己評価システムへの参画 ・教職員評価システム・教職員人事評価制度・ ・示範授業②－道徳科 ・指導技術を学ぶ（1）「学びの道場」映像資料の活用 ・基本的な生活習慣の育成 ・総合的な学習の時間 ・示範授業③－教科等 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営・学級づくりについて ・魅力ある授業づくり（特別活動） ・体育授業の基本・集団行動 ・魅力ある授業づくり（道徳科） ・班別ワークショップ <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科授業づくり ・示範授業（道徳科） 「発問・助言・指名・指示の仕方」
6	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発と研修① ●評価の実際 ・示範授業④－学級活動 ・教材研究 ●授業研究（Ⅰ）－教科 ・授業における児童理解の方法 ・示範授業⑤－教科等 ・示範授業⑥－教科等 ・示範授業⑦－教科等教材教具(教育機器)の活用 ・道徳科の指導計画と指導案の作成 ・教材研究 ●授業研究（Ⅱ）－道徳科 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別研修（Ⅰ）国語・算数 ・魅力ある授業づくり（音楽）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表の作成 ・学期末の学級担任の仕事 ・「規律ある態度」の育成自校の知・徳・体の育成の取組 ・校内研修への参加の仕方 ・教材教具の管理と活用（理科実験器具等の取扱い、管理を含む） ・安全点検の実際 ●学級経営の反省と評価（1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導・教育相談の考え方・進め方(1)～いじめ等生徒指導上の諸問題の理解と対応～ ・生徒指導・教育相談の考え方・進め方(2)～不登校の理解と対応～ ・学校カウンセリング概論・ソーシャルスキル概論 ・発達障害のある児童生徒の理解と支援 ・ベテランの技を受け継ぐ～若手教員の授業力を高める学びの道場事業～
8		<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンター ・「面接演習Ⅰ」・「面接演習Ⅱ」 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング ・「面接演習Ⅲ」 ・「事例研究（A方式）」 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進 ・魅力ある授業づくり（家庭、総合的な学習の時間・生活、社会、図画工作、外国語活動・外国語） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等の見学・体験（施設体験研修） ・協議「夏休み明けの指導に向けて」（施設体験研修）
9	<ul style="list-style-type: none"> ●9月からの学級経営 ・自己啓発と研修② ・指導技術を学ぶ（2）「学びの道場」映像資料の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別研修（Ⅲ）体育 ※夏季休業中課題提出（教員の日等）

月	学 校 研 修	機 関 研 修
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の指導の実際 ●不登校児童への対応 ・教科等の学習における ICT 活用 ・示範授業⑧－教科等 ・教材研究 ・示範授業⑨－特別支援学級 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修 総合教育センター江南支所 自然の博物館 さきたま史跡の博物館 歴史と民俗の博物館 埼玉県環境科学国際センター 川の博物館 自然学習センター 寄居林業事務所 大久保浄水場・新三郷浄水場 中川・荒川水循環センター 等
10	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導（事例研究1） ・特別活動の全体計画と進め方 ・示範授業⑩－学級活動 ・学級担任による生徒指導 ・教材研究 ●授業研究（Ⅲ）－教科 ・示範授業⑪－教科等 ●特別な支援を必要とする児童の理解と支援 ・授業の中での児童の生かし方 ・示範授業⑫－教科等教材教具の活用 ・生徒指導（個別指導の進め方） ・教育相談の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力・学習状況調査を活用した学力向上 ・教科別研修（Ⅱ） 授業改善に向けた研究協議（国語・算数）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・示範授業⑬－教科等 ・教材研究 ●学習形態の工夫 ・示範授業⑭－教科等 ・国際理解教育 ・人権教育の実践 ・教材研究 ●授業研究（Ⅳ）－学級活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育システム推進研修 県公立特別支援学校
12	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の学級担任の仕事 ・示範授業⑮－教科等 ●学級経営の反省と評価（2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別研修（Ⅳ）理科
1	<ul style="list-style-type: none"> ●教育改革と自校の現状 ・学級集団の高まりを意図した学級経営 ・教材研究 ・次年度の年間指導計画作成とその生かし方 ・示範授業⑯－教科等 ・教材研究 ・保幼小、小中の連携の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別研修（Ⅴ）選択（国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、道徳科、外国語活動・外国語、総合的な学習の時間） ・1年間のまとめ（評価）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・安全の指導 ●授業研究（Ⅴ）－教科 ・学校における環境教育の実際 ・示範授業⑰－道徳科 ・生徒指導（事例研究2） ・教材研究 ・授業研究（Ⅵ）－学級活動または道徳科 ・学年末の学級担任の仕事 ●学級経営の反省と評価（3） 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の内容と指導の充実 ・学級活動の時間の展開 ・学校の安全と防災 ・国際理解教育の意義と実際 ・「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ・閉講式
3	<ul style="list-style-type: none"> ●1年の成果と次年度への課題 	

※「●」印は、重点指導項目を示す。

※（Ⅰ）～（Ⅵ）は、授業研究6以上（教科等3以上、道徳科1以上、特別活動（学級活動）1以上、ただし道徳科と学級活動をあわせて3以上）

※示範授業①～⑰は、**教科等12（外国語活動・外国語1、総合的な学習の時間1を含む）**、道徳科2、学級活動2、特別支援学級1を実施する。

ただし、県内の研究発表校等での研究授業で代替することも可能である。（年2回程度）

※備考

①いわゆる二学期制（学年を二学期に分ける場合）をとる学校は、学校の実態に合わせ適切な時期に学校研修を実施するものとする。

②授業研究とは、指導案（A4判・縦長・2ページ、指導資料等除く）を用意し、指導教員等が指導する授業とする。また、教材研究・授業研究後の指導を伴うものとする。

③授業研究においては、可能な限り理科の実験器具等の取扱いについての内容を取り入れるものとする。（実施できない場合は、指導教員等の指導で触れること。）

④授業研究においては、機関研修の内容を踏まえ、児童生徒が主体的な学びを実現するための授業手法を取り入れること。

別表 I - 2 平成 31 年度 中学校初任者研修 学校研修及び機関研修項目

月	学 校 研 修	機 関 研 修
4	<ul style="list-style-type: none"> ●教師としての心構え（メンタルヘルスも含む） ・教員の日～自校のサービスのきまり～ ・学校の教育目標と教育計画 ●年度初めの学級担任の仕事 ●学級経営の内容と果たす役割 ・給食指導、清掃指導 ・示範授業①－専門教科 ・校務分掌と担任の役割 ●教材研究と学習指導案 ・週案、学習指導案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・初任者研修ガイダンス ・今、教師に求められているもの ・服務規律と不祥事の防止 ・社会人としてのコミュニケーションマナー ・学級経営の基本と保護者との連携 ・教員のためのメンタルヘルス ・人事評価制度について
5	<ul style="list-style-type: none"> ・職場におけるメンタルヘルス ●体罰の厳禁 ・指導技術を学ぶ（1） 「学びの道場」映像資料の活用（国・社・数・理・外） ・家庭との連携－家庭訪問・個人面談－ ・学校自己評価システムへの参画 ・教職員評価システム・教職員人事評価制度 ・示範授業②－専門教科 ・総合的な学習の時間 ・基本的な生活習慣の育成 ・教材研究 ●授業研究（I）－専門教科 ・示範授業③－専門教科 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりのポイント ・魅力ある授業づくり（道徳科） ・班別ワークショップ ・部活動の意義と運営・緊急対応 ・学級経営・学級づくりについて <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科授業づくり ・示範授業（道徳科） ・「発問・助言・指名・指示の仕方」
6	<ul style="list-style-type: none"> ●いじめ問題の理解と対応 ・道徳科の指導計画と指導案の作成 ・示範授業④－専門教科 ・授業における生徒理解の方法 ・評価の実際 ・通知表の作成 ・示範授業⑤－道徳科 ・教材研究 ●授業研究（II）－道徳科 ・自己啓発と研修① 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別研修（I）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究 ・「規律ある態度」の育成自校の知・徳・体の育成の取組 ・学期末の学級担任の仕事 ・学級経営の反省と評価（1） ●教材教具の管理と活用 ・安全点検の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導・教育相談の考え方・進め方(1) ～いじめ等生徒指導上の諸問題の理解と対応～ ・生徒指導・教育相談の考え方・進め方(2) ～不登校の理解と対応～ ・学校カウンセリング概論・ソーシャルスキル概論 ・発達障害のある児童生徒の理解と支援 ・ベテランの技を受け継ぐ～若手教員の授業力を高める学びの道場事業～
8		<ul style="list-style-type: none"> ・グループエンカウンター ・「面接演習 I」・「面接演習 II」 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニング ・「面接演習 III」 ・「事例研究（A方式）」 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・教科別研修（II） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等の見学・体験（施設体験研修） ・協議「夏休み明けの指導に向けて」（施設体験研修）
9	<ul style="list-style-type: none"> ●9月からの学級経営 ・自己啓発と研修② ・指導技術を学ぶ（2） 「学びの道場」映像資料の活用（国・社・数・理・外） ・学校行事の指導の実際 ●不登校生徒への対応 ・示範授業⑥－専門教科 ・地域教材を取り入れた授業の実践 ・教材研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力・学習状況調査を活用した学力向上 ・授業改善に向けたグループ別協議 ・魅力ある授業づくり（総合的な学習の時間） ・進路指導とキャリア教育の推進 ・人権教育の推進 ・情報モラル教育の推進と情報セキュリティについて <p>※夏季休業中課題提出(教員の日等)</p>

月	学 校 研 修	機 関 研 修
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 示範授業⑦－特別支援学級 ・ 特別活動の全体計画と進め方 ・ 教科等の学習における ICT 活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修 総合教育センター江南支所 自然の博物館 川の博物館 さきたま史跡の博物館 寄居林業事務所 自然学習センター 埼玉県環境科学国際センター 歴史と民俗の博物館 等
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 示範授業⑧－学級活動 ・ 教材研究 ● 授業研究（Ⅲ）－専門教科 ・ 学級担任による生徒指導 ・ 示範授業⑨－道徳科 ● 特別な支援を必要とする生徒の理解と支援 ・ 授業の中での生徒の生かし方 ・ 生徒指導（個別指導の進め方） ・ 示範授業⑩－学級活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科別研修（Ⅲ）
		<ul style="list-style-type: none"> ・ インクルーシブ教育システム推進研修 県公立各特別支援学校
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談の進め方 ・ 人権教育の実践 ● 学習形態の工夫 ・ 生徒との接し方 ・ 生徒指導（事例研究1） ・ 示範授業⑪－専門教科 ・ 示範授業⑫－専門教科 ・ 保健・安全の指導 ・ 教材研究 ● 授業研究（Ⅳ）－学級活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科別研修（Ⅳ）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月の学級担任の仕事 ・ 教材研究 ● 授業における評価の効果的な活用 ・ 学級経営の反省と評価（2） ● 進路指導と学級担任の役割 ・ 学級集団の高まりを意図した学級経営 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己啓発と研修③ ● 教育改革と自校の現状 ・ 示範授業⑬－道徳科 ・ 小中連携の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科別研修（Ⅴ） ・ 1年間のまとめ（評価）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材研究 ● 授業研究（Ⅴ）－道徳科または学級活動 ・ 学校における環境教育の実際 ・ 示範授業⑭－専門教科 ・ 生徒指導（事例研究2） ● 次年度の年間指導計画作成とその生かし方 ・ 教材研究 ● 授業研究（Ⅵ）－専門教科 ・ 学年末の学級担任の仕事 ・ 学級経営の反省と評価（3） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別活動の内容と指導の充実 ・ 学級活動の時間の展開 ・ 学校の安全と防災 ・ 国際理解教育の意義と実際 ・ 「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ・ 閉講式
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年の成果と次年度への課題 	

※「●」印は、重点指導項目を示す。

※（Ⅰ）～（Ⅵ）は、授業研究6以上（教科等3以上、道徳科1以上、特別活動（学級活動）1以上、ただし道徳科と学級活動をあわせて3以上）

※示範授業①～⑭は、専門教科8（総合的な学習の時間1を含む）、道徳科3、学級活動2、特別支援学級1を実施する。

ただし、県内の研究発表校等での研究授業で代替することも可能である。（年2回程度）

※備考

①いわゆる二学期制（学年を二学期に分ける場合）をとる学校は、学校の実態に合わせ適切な時期に学校研修を実施するものとする。

②授業研究とは、指導案（A4判・縦長・2ページ、指導資料等除く）を用意し、指導教員等が指導する研究授業とする。また、教材研究・授業研究後の指導を伴うものとする。

③授業研究においては、機関研修の内容を踏まえ、児童生徒が主体的な学びを実現するための授業手法を取り入れること。